



JCLIFE

2023年
9月号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook:<http://www.facebook.com/isojcnw>



8月例会 定時総会

8月20日(日)、
大本山浄土寺にて8
月例会・定時総会が
開催されました。

総会では、第1号
議案、第2号議案に
おいて、定款並びに
運営規定の変更の議
決が行われ、賛成多
数をもって承認可決
されました。続く第3号
議案において2024年
度理事長予定者に小林暢
玄君が推挙され、全員の
賛成をもって承認可決さ
れました。



例会云・定時総



そして、第4号議案において2024年度
監事数及び理事数が上程され、続く第5号議
案において2024年度監事予定者に岡本大
輔君及び平岡良之君が推薦され、全員の賛成
をもって承認可決され
ました。
続いて行われた理事選
挙では、厳正なる開票の
結果、理事予定者18名が
選出されました。
次年度監事・理事の
皆様、本当におめでと
うございます。

(記事：水野春樹)

2024年度理事(18名)



中島裕一朗君
(新任)



高垣裕吉君
(重任)



高垣悟君
(新任)



小西琢真君
(新任)



亀田康寿君
(重任)



加藤雄大君
(新任)



岡村虹二君
(新任)



大原和浩君
(新任)



小林暢玄君
(理事長)



吉田嵩正君
(重任)



山本恭平君
(重任)



森田洋一郎君
(新任)



向井豪佑君
(新任)



松本裕太君
(重任)



藤田祐輔君
(重任)



福本真也君
(新任)



福島侑君
(新任)



沼田剛志君
(重任)

2024年度監事(2名)



岡本大輔君



平岡良之君

×
(50音順)
×

夏期講習

8月19日(土)、原田芸術文化交流館やまそらにて、夏期講習を開催しました。

テーマは、「あなたの魅力は無限大！〜知！力！体！やまそらチャレンジ〜」。

ランダムに構成されたチーム毎で、謎解きや各チャレンジゲームを実施。



共通の課題に協力して取り組み、どうやってクリアするのかをメンバーが試行錯誤する中で、メンバー同士のお互いの魅力、そして自身の新たな魅力や個性を客観的に見出す機会となりました。



その後、浄土寺にて懇親会を開催。尾道らしさが溢れる開放的な場所で楽しい時間を共有し、やまそらチャレンジを行ったチームメンバー同士や会員で交流を深めることが出来ました。夏期講習にご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。



(記事：輝くまっつくり推進委員会
亀田康寿)

みんなで創ろう! ひみつきち

秘密基地大作戦!

『自分で考えること』
『自分の意思で行動すること』
『自分で判断・決断すること』

日々の生活の中で実践できていますか?
秘密基地を作るという体験の中で、自ら考え、行動し、判断してもらいながら、仲間と一緒に楽しい思い出を作りませんか?
普段学校や家では作れない秘密基地を仲間と一緒に思いっきり作ってみよう!
皆様のご参加をお待ちしております!

実施日時 2023年10月14日(土) 9:00~16:15
場所 原田芸術文化交流館やまそら(運動場)
※雨天時は体育館で実施

プログラム概要
★秘密基地作り
★秘密基地でご飯
★秘密基地お披露目会&表彰式

参加定員 50名(小学校4年生~6年生のお子様)
※秘密基地作成時に様々な工具等を使用する関係上、対象年齢を絞らせて頂いております。予めご了承下さい。
※定員以上の募集があった場合は抽選とさせていただきます。(9月29日までに抽選結果をお知らせいたします)

応募条件
①公式LINEを登録し、応募フォームへの記入と送信
②自分が作ってみたい秘密基地のデザインを描いて写真に添って公式LINEに送信(※複数枚可)

参加費 500円
募集締切 2023年9月24日(日)17:00 応募分まで
応募方法 QRコードよりエントリー

使用材料一覧

主催 JCI Junior Chamber International, Chugoku 一般社団法人 尾道青年会議所
〒722-0035 広島県尾道市土堂2-10-3 尾道青年会議所3F
TEL:0834(25)-1110 FAX:0834(25)-1112 URL: https://www.jci.or.jp

協賛 尾道市教育委員会

みんなで創ろう! 秘密基地大作戦!

『自分で考えること』
『自分の意思で行動すること』
『自分で判断・決断すること』
日々の生活の中で実践できていますか?
秘密基地を作るといふ体験の中で、自ら考え、行動し、判断してもらいながら、仲間と一緒に楽しい思い出を作りませんか?
普段学校や家では作れない秘密基地を仲間と一緒に思いっきり作ってみよう!

多くの皆様の御参加をお待ちしています。

(記事：未来輝く青少年育成委員会 松本裕太)

開催日時 2023年10月14日(土) 9時~16時15分
場所 原田芸術文化交流館やまそら
内容 ★秘密基地作り
★秘密基地でご飯
★秘密基地お披露目会&表彰式

定員 50名(小学校4年生~6年生のお子様)
参加費 500円

応募フォーム

卒業生スピーチ



大池 慎三

まず、初めに私の自己紹介をさせていただきます。私の名前は大池慎三です。職業は電気工事業を営んでおります。大阪の電気専門学校を卒業して大阪の電気工事業社に就職して、2年

わすかで就職した会社が潰れるということ、地元に戻ってきました。そして、三原の電気工事業社に勤めました。

そこで勤めているときに、前に勤めていた会社の上司が電話をくれて「大池、わし何ほ給料があると思う？」と言ってきました。私は40万ぐらいかなと思っていましたが、「今、月200万もろうてんねん。」と聞き、まじかあ。と驚きました。

この時の私は、まだ20歳ぐらいで世の中のこととも分かっていない、怖いものもない、いわば無敵状態でした。結婚もしませんでしたし、守る物が何もない時でした。そこで、その先輩上司に詳しく話を聞いたら、私も社員時代にやっていた業務で、一人親方をしていると分かった。「お前もやればいいじゃん」と言われて興奮したのを覚えています。

この時から私の人生が変わりました。それから1年経たない内に、私は親に金を借り工事車両を買って道具を全部そろえて大阪に舞い戻りました。この時は、死ぬほど働きました。けど、一生この仕事では体がもたないと思ひ。また地元に戻ってきて、今の会社を設立しました。

JICに入ったきっかけですが、私をJICに誘ってくれたのは中谷先輩でした。絶対後悔させない、全責任はわしがとるからと強く勧め誘って頂きました。最初は半強制的な感じ

での入会でしたが、本当に後悔のない最高のJIC生活を送らせていただきました。先輩ありがとうございました。

ここからは、普通に話しても面白くないので、ごきげんようっぽくやらさせていただきます。サイコロを振って6個目がありますので、出た目の話をさせていただきます。

何が出るかな？ 何が出るかな？

●セクレタリー

この年は3人体制のセクで事務セクが藤田さんと吉田崇正君で運セクは私。専務が高橋建太さん、理事長が加度先輩でした。

この時の思い出は、私の会社が色々あつてJICを辞めようとしたことです。当時の加度理事長に、自分の会社でゴタゴタがあり0から会社の組織人事を作り変えることをしないと戻つてくれるか分かりませんと相談しました。理事長からゆくりでいいから、戻つておいでよつて優しく言つていただきました。そして、何とかゴタゴタを解決して運セクを再開したときに加度先輩、建太さん達、事務局メンバーが温かく迎えてくれて、ケーキと一緒に復帰おめでとう会をして頂いたことが最高に嬉しかった思い出です。

●委員長の話

委員長の時は、先輩を真似して委員会運営をしていました。私が幹事の時の委員長、大前先輩が「幹事が楽しくしている委員会が最高の委員会じゃ」とよく言っていたのを覚えていました。なので、それを軸に、とにかく幹事の福島君や委員会メンバーが楽しく出来るようにやつていたつもりです。この教訓は受け継いでいつて欲しいです。

あとは、上程書を完成させないといけない、やらないと終わらない地獄と、理事会での高山先輩の強烈な質問責め地獄を経験して、パソコンも少し、ホームページやパワーポイントも少し出来るようになりました。教育委員会に学校へチラシを配ってもらう手順など、色々なことをJICの先輩後輩に教えて頂きました。それと当時の神。大前先輩、知和先輩、貴

臣先輩を始めとしたします委員会メンバーに助けて頂きました。自分の出来ることなど、ほんのわずかで、委員会メンバーの後押しを一杯受けた年となりました。委員会ラインの返事がないと怒られていたけど、いつも支えてくれた副委員長のヌマックス。大好きです。途中からやる気になった沼尾君、こごぞというとき来てくれる小迫さん、PAばかりしてもらった圭介さん、私にとつて最初で最後の幹事福島君、本当に私を支えて頂き、ありがとうございました。最高の委員会メンバーでした。ありがとうございました。

●副委員長の時の話

副委員長の時は、私は、何もしていません。強いて言うなら、卒業例会の似顔絵に全力を注いだぐらいです。この時の委員長は村橋先輩でした。

この委員会はとにかくコロナ禍なのに委員会が多かったです。委員会というよりか、美味しい物を食べていただけです。誰かが旨いものを見つけて、それを実践してみよう。調査研究実践をしていました。その中でJIC二美味いとなったのが因島重井の肉屋のしゃぶしゃぶです。それと、吉田嵩正君大絶賛のフンドーキンのボン酢、あれとの相性がガチで合います。みんなも食べてみて下さい。詳しくは福島君に聞いて下さい。

この時の委員長の村橋先輩は、吉田嵩正君が遅くまでいられないので、できるだけ真面目な総務の委員会を短く単的にして運営してました。委員会メンバーの事を第二に気遣う優しい委員長でした。この総務広報委員会でのJICの基本ルール、気遣いを学びました。本当に楽しかったです。

●卒業予定者のときの話

今現在ですが、楽しいだけです。これも、委員長の藤田さんのお陰です。

私の勝手な尾道JICのイメージですが、幹事、委員長、副委員長、副理事長、理事長、卒業予定者の順番で卒業予定者が頂点だと思つています。なので、私は神なのです。

委員会メンバーとの思い出作りをしたがために、ティラノリスに出たいと言つてみたら、みんなでエントリーしてくれて、わがままをいっぱい聞いてくれる委員会メンバーです。でもまだまだ残りの時間で、わがままを言うていこうと思ひます。よろしくお願ひします。

●?の目

めつちやい話します。

これは僕がまだ小学生ぐらいの時の話です。大池家では、毎年家族で住吉花火大会を見るのが恒例行事でした。その時に親がたまに、住吉花火に協賛していると会社名を呼んでくれます。そして協賛すると会社名を呼んでくれます。

僕は、その時の住吉花火がめちゃくちゃ嬉しかったし、誇らしかつたのを小さいながら覚えてます。僕がそうだったようにJIC活動も同じだと思ひます。JIC活動やJICの事業を子どもと参加することで子供にいい記憶を残すことが出来るチャンスになると思ひます。ぜひ委員長や理事をやつて欲しいです。いいパパママができると思ひます。ちなみに私はその影響で、会社設立してから住吉だけは協賛しています。

●大池の思ひ

私が皆さんに言ひたいことは、とにかく委員会に出で欲しいです。出ないとも悪いことも分らないからです。そして出ることもよつて得るものもあるし、失敗することもあります。ですが、すべて得るものだと思ひます。

私が得たものは、この青年会議所活動で友情と同じ苦しみを共にした仲間。JICという共通の話題です。あと委員会に配属されたら、自分が配属されることよつて、他のメンバーが楽しくなるようなメンバーとなつて欲しいです。

最後にみなさんに。せつかく入った尾道JICです。いっぱい出て一生付き合ひ出来る仲間を作つて卒業しましょう。



村上 直弘

中国地区コン
ファレンス実行特
別委員会の村上で
す。先ずはこの度、
卒業生スピーチと
いう、この様な場
を設けて頂いて誠にありがとうございます。
先月から記録的な猛暑日が続き
ますが、皆様お疲れ様です。

私自身、尾道青年会議所での歴も
5年となります。あまり過去を振り
返ると長くなると思います。J.C生活で学
んだことを中心に話していこうと思
います。

尾道青年会議所では、1年目は委
員会の幹事として配属されます。この
時に青年会議所の細かいルールなどを
確認しておくことが必要だと思いま
す。事務局の予約の仕方やカギの受け
取り方、例会、合同委員会などの青年
会議所共通のルールや尾道青年会議
所の独自ルールがありますので、分か
らないことは委員長や先輩の方に必
ず聞いてください。自分の失敗談にな
りますが、1年目の幹事の時に当時の
副理事長に直に電話をしてしまい、主
推薦の鍋島先輩にご指導頂いた経験
があります。基本的に入会歴順に上
下関係が来ていますので、こういう
ことが無い様に注意してください。

よつては忙しいため期日までに連絡が
無い方など様々な場合があります。
電話連絡をしておくとは必ず折
り返しがありますので、思ったより簡
単に出欠の意思はとれますし、先輩と
の接点を作ることが出来たので良かっ
たと思います。この場合、手帳の連絡
先は必ず登録をしておいてください。
つづいて、2年目にブロックに山北先
輩が監査担当役員として出向され、
その補佐として川口さんと一緒に出向
しました。当時、山北先輩は直前理
事長という立場で、なかなかこちらか
ら話す機会が無かったのですが、たま
たま呉へ行った帰り道に話をする機
会がありました。その中で山北先輩
から教わったことですが、「事業に参
加して、自分であればどの様な例会・
事業を構築するかを意識して見た方
が良いよ」と言われました。言葉通り
に受け取れば理事を受ける準備の様
な感じで聞き取れますが、その時の立
場で自分に何が出来るのかを考えて
欲しいということを言われたのだと思
います。

会員はいずれかの委員会に配属に
なります。尾道青年会議所の例年主
な委員会候補として、「まちづくり」、
「まつり」、「教育」、「拡大」、「総務」、
「防災」、「人材育成」、そして年によつ
ては「特別室」が出来ています。これら
の委員会の候補はよく考えられてい
るなと思います。その年の理事長の想
いに沿つて各委員会が作られ、各委員
長が配属されています。それぞれ事業
にしても例会にしても委員長の想
いが詰まっています。

例会であれば、各企業や生活面で
何かしらの学びに繋がってくることを

企画しています。事業は尾道の教育
面、歴史文化の継承、祭りへの参加・協
力などまちや会員のためになる事を
実施しております。規模であったり、
まちの巻き込み方であったり大きな
事業が出来るのは青年会議所だけだ
と思います。

すみません、情けない話ですが、自
分が委員長の時は能力が足らず、歌
副理事長や加藤副委員長と共にいろ
いろ考えていました。他の委員長は？
ということ聞いて頂ければと思いま
す。なので、事業や例会の細かいこと
に自分の技能・技術がどの様に手伝え
るかを考えることが出来れば青年会
議所メンバーとして上級職になつてい
ると思います。

今後、様々な青年会議所活動を経
て理事を受けるかどうか考える方が
いると思います。

私としましては、4年目以降の経験
を基に話しますと、会員それぞれの
家庭の事情や企業での立場があり、
概に受けてみたら良いとは言えませ
ん。自分も委員長から副実行委員長
(副委員長)の立場しか理事を受け
ていないので、それ以上の立場が分か
る訳ではありませんが、委員長は苦
労すると思います。まちづくり系の委
員長でしたが、先ず何をやったら良い
のかから考えると、ころがスタートでし
た。0から1を考えるのが本当にしん
どくて委員会を開くのもしんどかった
のを覚えています。歌副理事長や加
藤副委員長をはじめとするメンバーに
は多大な迷惑をかけたと思っております。

マイナスマネバかり言っているといけな
いと思いますので、良かった点は委員

長をやった結果、自身の思い出、そして
人脈が広がったと思います。

尾道の魅力を再発見という事業を
やらせて頂きました。この事業を通
して尾道市役所の方々とやり取り
やポスターを掲示させて頂いた皆様
など二部の方とは今でも連絡を取る
機会があります。本当に皆さんのお
かげで約2000件近くの尾道の魅
力を投稿頂きました。またグラン
プリ作品が尾道の地元企業である丸善
製菓株式会社の協力のもと、しまな
みウオーターの特製ラベルになるなど
本当に大きな事業をやることができ
ました。本当に尾道青年会議所のパ
ワーを感じる事業だったと思います。
ここまで良い事業を委員会メンバーや
青年会議所メンバーの方々のご協力の
もとで作って頂いて本当に感謝して
おります。

最後にたまたまこのスピーチを作
成している時にJ.C手帳を裏から開
く機会があり、2020年代の活動指
針を見ました。その中に「変化に前例
なし」と記載されています。現在どこ
のLOMでも会員が減ってきていると
聞く機会が増えてきます。その中で会
が存続していく為には、外部に対し魅
力を発信していくことが必要だと思
います。加速度的に情報・技術面での
社会の変化は起きています。また、新
型コロナウイルスも収束しているとい
え変化が求められてきました。前例
の無いものに対応するためにも各メン
バーの成長が必須になってきます。そ
の自身の成長にとって人脈が広がるこ
とで自分への刺激も変わってきますの
で、青年会議所という環境を上手く
使って頂ければと思います。

(記事：沼尾一)

みなさん夏をどうお過ごしですか?8月に委員会メンバーと一緒に、無人島へ冒険に出かけ自慢の肉
体を見せびらかしてしまいました。みんなからの視線が眩しかったな。その後のバーベキューでは、更なる
肉体改造を目指す為に肉をたらふく食べて、栄養補給しました。シックスパックまであと少し。





村上 康

失礼致します。合同委員会で、毎年この時期に卒業生スピーチを聞いて、まだまだ先だなと思つてたんですが、今この場に立つて、あつという間にこの時期が来たなと思ひました。

僕は桂馬商店でかまぼこを作っています。元々は尾道市役所の土木科で道路とかの設計業務をしていました。結婚して、婿養子となり今は、かまぼこ作りをさせて頂いております。

次に入会のきっかけなんです。元々妻がJCMメンバーでした。子供が生まれて子育てが忙しくなり、JCMに出るのが難しいということで辞めることになり、私の代わりに入りなさいということ、JCMに入ることにしました。

入る時は結構前向きで、社長もJCMメンバーだったんですけれども、今でもJCMメンバーの人とすごい仲良く、特に三和鉄構の中島先輩、山石の山本先輩と一緒に旅行に行ったり、すごい楽しそうにしているんですね。辞めて何十年も経ってもこんな楽しそうにしてる友達が出来るといいのはすごい良いなと思ひました。僕はすごい人見知り、なかなか友達を作るのが不得意なので、JCMに入ってみようかなと思ひました。あとは、ゴルフが好きだったので、ゴルフの友達とかも出来たらいいなと思つて入会させて頂きました。

1年目。幹事の時に、時代を担う宝育成委員会で加藤雄大委員長のところへ所属させていただきました。最初の1年目はなかなか楽しくなかったって人もいます。最初は、雄大さんがすごく優しく、僕は1年目からすごい楽しく、1年目からピクかなっていうくらい思っています。入る時に島田元太君が勧誘に来てくれて、「JCMで出るのは例会と合同委員会の2日だけ。朝早いのは知ってる。もうその2日だけ。」と言われて入ったんですけれども、雄大さんも話が上手くて、「幹事が出てくれたら委員会が盛り上がる。」と何回も言われて気がいたら週7ぐらい雄大さんと一緒に事業に向けて動いてるなと思つて、ちょっと騙されたなとその時は思っていました。でも今、渉外局長の立場に立つて、勧誘の時に同じことをさせて頂いています。それを自分で感じて僕も立派なJCMマンになったな。とつくづく思つ

ております。

1年目ブロックゴルフ大会にも率先して出たんですけれども、1年目から優勝させていただきまして、その時に安楽城先輩と一緒に行ってたんですけれども、まさか優勝しているとは思わなくて、表彰式の前に帰宅してしまっていました。すると、電話がかかってくる。「優勝者がいない。優勝してるよ。どこいる。」みたいな感じになったんです。、「すみません。今高速走ってます。受け取つておいてください。」というのがありました。

あと家族会を担当しまして、その時にかまぼこ作りをするというのでかまぼこの先生もさせて頂いて、ピザ作りの時にはピザ窯も作らせてもらいました。僕は物を作るのがすごい好きなので、すごく楽しくさせて頂いて、結構得意な分野で、JCMでやらせてもらったのはすごく良かったなと感じております。

雄大さんもすごく優しく、かまぼこ作り体験の試作時に、僕が作ったかまぼこの試作を食べてもらいました。その時に雄大さんに唐辛子をたくさん入れた、スペシャルのかまぼこを用意しました。それを食べた後も怒らずに優しく許してもらえたというのがあったり、あとチリチリのパスタをかけてきた時があったんですけれども、それをいじたりしても優しく許してもらえたというのがあります。ただ、その後、僕が何か食べ物をあげると瞬間があつたりとか、その後、Pマをかけなくなつたりというのがありました。幹事なのにごくふざけたことをしたなと思つてまして、雄大さんあの時は申し訳ありませんでした。渉外局長として幹事の心得をしっかりと研修をしていきたいと思つております。

次は2年目で、豊かな人材育成委員会の沼田委員長の委員会で、この時にコロナが始まりました。その中でも、秋の本事業でバルーンリリースをしました。コロナ禍でも子どもたちを集めて、願いを書いてもらつて青空に向かって飛ばすの、バルーンを上げたんです。その写真が尾道の広報誌に載りました。その写真がめちゃくちゃ綺麗で、何年も前ですが、この卒業生スピーチを考えている時、今でもその綺麗な写真が頭に思い浮かぶくらい鮮明に残っていて、本当瞬間のことなんです。ずつと準備してきて、こういう瞬間の綺麗な

記憶が残るのもJCMのいいところだなと思ひました。

次に3年目ですが、地域教育実践委員会の島田昌広委員長の委員会に所属させていただきました。この時もなかなかコロナで動くのが難しかったんですけれども、この年も家族会を担当させて頂いて、クレープ作りをしようということでクレープの生地を焼く担当させて頂いたんです。ね。生地を焼くのが結構難しくて、何回も失敗したりしてたんですけれども、練習しているうちに、すごく焼くのが上手になりました。この家族会をきっかけに、我が家で朝、クレープを食べるようになりまして。これもJCMに入つてなかったら我が家の朝のメニューにというのが登場しなかったなと思つて、これもJCMで得られたいい経験だなと思ひました。

秋の本事業では、お仕事裏側探検バスツアーとして、子どもたちにも大人が働いている会社。尾道造船だつたり、啓文社さんだつたり、裏側を見て勉強してもらおうというバスツアーを企画しました。最後に子供達にアンケートも取ったんですけれども、そこに親御さんから、事業に対してのお礼プラスJCMの人たちが一生懸命授業をやっている姿を見て、事業以外でもそういう面が良かった。私の子どもも、将来JCMメンバーのような大人に育つてほしいって手紙が届いたんです。それを島田さんと見た時にすごいいい事業をしたなと思ひました。やっぱりJCMに入つていなかったらそういう事業に関われなかったし、今後もこういう事業をしていきたいなと思つて、それがきっかけで、次の年、僕は理事をさせて頂きました。

65周年実行特別委員会でもよく雄太さんが、「JCMに入ったなら、せつかくだから理事も経験をとった方がいい。そうせんと時間とお金を使つてやっているのでないよ。」って言われていたんですね。元々、僕が入る時は、朝も早いので夜遅くなるのがしんどいし、理事はしないつもりでいたんですけれども、せつかく入つたんだら、ちよつと経験をしようかなと思つて理事を引き受けさせていただきました。その中でも、僕は副実行委員長ということで式典だけの担当だったんですけれども、そうやって負担を軽くしていただいて理事をさせて頂いた

だいたのはすごく感謝しております。理事会とかに出て、委員長の方が事業をやるのにめちゃめちゃ悩んで構築をしているっていうのを目の当たりにしました。それをきっかけに事業への参加の意識が変わりました。最初の1、2年は楽しいのは楽しかったんですけれども、事業の案内が来たら、日曜日にちよつと出るのもしんどいなと思つていました。が、やっぱり委員長がすごい悩みに悩んで作り上げた事業っていうのを理事会で、肌身で感じて、そこからは結構前向きに率先して事業とか例会も出るようになりました。

僕は人見知りというか、人になかなか興味がない性格なんですけれども、その時に式典でOBの先輩方をお呼びしたり、歴代理事長をお招きする立場だったので、色々な方に協力を仰いで、OBの方々や、色々な所に電話をさせて頂きました。僕は電話を一本かけるのもめちゃめちゃ苦手で、でもやっぱりやらないと前に進まないんで無理やりというか、電話をかけるようになって、ちゃんと人に電話をかけられるようになりました。これもなかなかこういうことをやらないとできないことだなと思ひます。

コロナ禍で、新年宴会をやつたり、式典でもいきなりオンラインに切り替えるとか直前に変更になったことが結構あつて、岡田健吾先輩のところにめちゃめちゃ色々聞きに行っていました。その時に何か持つていかないと失礼だろうということ、僕はかまぼこを持つて行つて行くんですけど、加藤君がめちゃめちゃメロンパンを持つて行くんです。何でそんなメロンパンを持つて行くんですか？聞いたら、「健吾さんはメロンパンがめちゃめちゃ好物らしい」と言つて、すごいメロンパンを持つて行くんです。で、そうしたらある日、岡田先輩が「俺、メロンパンそんな好きじゃないよ。」って、「むしろメロンパンばかり食べさせられて、太るから困る。」みたいな感じになったんで、先輩にお世話になる時にお礼として色々持つて行くのは良いんですけども、ちゃんと何が欲しいかというのをしっかりとサーチして、ガセネタには今後気を付けてくださいます。今年、事務局で渉外局長をさせて頂いたんで、予定者は好きな委員会に所属させてもらえらるみたいなことを聞いていたので、どこがいいと言

われたので、拡大委員会以外がいいですって言うてたんですね。それらまさかの渉外局長。拡大委員会ではないんですけれども、拡大。なぜ拡大が嫌だったかと思ったら僕は人見知りなんで、なかなか僕なんかは関与できないだろうと思うたんです。実際、去年まで僕は拡大活動に関して一人にも電話したことも、声をなかなかかけたこともなかったくらいで、できなかった人間なんです。拡大活動はちょっと一旦置いておきまして、分かりましたって引き受けました。

次にリクエストしたのが予定者っていったら、大池さんも言われたように神扱いをされるっていうのを僕は楽しみにしてたんです。それで恭平さんとか雅崇くん、「僕は委員会でも神扱いされるのをごい楽しみにしてたのに、事務局なんじゃね」って言うたら、「いいや、事務局でもめっちゃ大切に扱いますから」って言ったんで、じゃあ分かりましたって言うて、心よく引き受けました。

でもそこから、僕が結構忘れられることが多いです。まず8月の理事会、理事会だと前に置くネームプレートがみんなあるんですけれども、僕のネームプレートだけないんです。作られてないんです。新しいポストカードとか分らないんです。まず1点忘れられていました。

次に秋ぐらいですね。例会が終わった後に、新開に行くことになりました。「桂馬の駐車場まで迎えに行くので待っていて下さい」って言われて、待ってたんです。そして、みんなの車が猛スピードで通り過ぎて、僕ずっと待ってたんですけど、誰も迎えに来てくれなくて。電話かけたら、すぐ向こうから戻ってきてくれましたが、誰かが迎えに行くと思ってたとみんな言うんですよ。予定者ってこんなもんじゃないですか。

その次、その時はまだ秋なんで65周年も被ってたんですけれども、例会が終わった後にみんな事業に向けて打ち合わせで、村一番に行くことになりました。例が終わって村一番集合。みたいな感じ。僕は国際ホテルの地下に車を置いてたんで、すぐにそのまま村一番に行きました。他の人は、みんな国際ホテルの駐車場に移動してる間に、やっぱり製鐵原料で話し合おうってなつたらしく、僕一人店ですって待ってたんですよ。誰も来なくて、みんなコンビニでお酒とか買って製鐵原料に行つて盛り上がったという。電話し

たら、あれ、やつちゃんがない。みたいな感じになつたらしく、それも忘れられてました。65周年でも忘れられ始めてから、それでその時に被ってる人って言うたら、豪ちゃんと雅崇君。この辺がどんだん僕のこと忘れていったんだなと思つて、すごく急いで製鐵原料に行つた記憶があります。

ここまで忘れられたら、もう忘れられることないだろうと思つてたんですけれども、福山JICとの顔合わせを備後茶量で行つた時、その挨拶のこと。もちろん理事長から順番に挨拶。副理事長、専務が挨拶をして、事務局長が挨拶しますよね。事務局長の次が、渉外局長の番なんですけれども、事務局長の挨拶が終わって僕が立とうとしたら、もうセクレタリーが立って挨拶してるんですね。ここでも忘れられ、もう挨拶もさせてもらえない。

これとここまで続くのかなと思つて今年も、それ以外もちょくちょく色々忘れられて、この話を今日しないといけないなと思つた時に、平岡さんがいいスピーチされましたね。予定者を大事にしないといけない。予定者を！飲みに行く時も予定者を忘れて自分だけ行くとか考えられない。前に座つてた人。その話を聞いて、みんな青ざめました。まさに今日のための平岡実行委員長の挨拶だったなと思います。

事務局の話はこんな感じなんですけれども、忘れられてもなんだかんだ言つて楽しかったです。途中から忘れられることへの快感を覚えてきたんだなと思いました。キャババンもほぼ全出席させてもらったんですけれども、岡村虹二君のちょっと古いオデッセイで移動していました。中国5県各地行くんで、山口とか鳥取つてなつたら、往復5時間6時間かかります。僕は3列目のめっちゃめっちゃ狭いシートなんです。これが予定者かと思つたんですけれども、朝仕事して昼2時ぐらいから出発して帰ってくるのが夜中なんですけれども、ちゃんとほぼ出席させてもらいました。そんな中でも、車の中で雑談とかワイワイするのが楽しかったんで行つてました。本当に嫌だったら行つてない。断つてますね。実は楽しかったです。

そんな5年間JICやつてみて、人見知りでも人に興味がない僕なんですけれども、どの委員会に所属しても楽しかったです。特に理事をやつてからは楽しさが2倍3倍になったなと思います。

フロアメンバーの時は、委員会内だけで楽しかったり、密度がそこまで濃くないと言つたら変ですけど、やっぱり理事になつた方がより濃密な時間を過ごして、ちょっとした雑談とかでもすごい楽しいです。年数を重ねることにするのが楽しくなつてきました。朝起きるのはしんどいんですけど、しんどくても出ようかなつてくくらい楽しませてもらいました。

拡大の話に戻るんですけど今年、渉外局長ということで、13人に仮入会をいただきました。僕一人ではとてもじゃないけどできないこと。結構、最初考えるときはどうやってみんなに拡大を一生懸命してもらおうかなと思つたんですけど、すごい熱心に拡大してもらつて、いろんな情報ももらつて、全員で動くことはすごい良いことだなと感じながら、今年、渉外局長をさせていただきました。

これで大体5年間の振り返りなんですけれども、その中でやり残した事、悔いが残る事が2つありまして、1つは京都会議ですね。行こうとはしたんですけど、結局5年間、京都会議に行けませんでした。1年目の時、京都会議に行つて会場の直前まで行つたんですけど、熱が出て調べたらインフルエンザでした。すぐに帰らないといけないということでトンボ帰りしまして、その後はコロナ禍になつて行けなくて。5年目、今年こそ行くぞつてなつたら、直前で僕自身がコロナに感染して行けなかったというのがあります。

次に2点目、これが一番大きい悔いなんですけれども、今年のブロックゴルフ大会ですね。昨年吉田理事長がベストスコアというのを取られて、ベストスコアというのは広島県内で一番スコアが良かった、上手い人がもらえる賞なんですけれども、それを吉田理事長が獲得して賞品を持った写真がJICライフに載つていて、いいなと思つてました。来年は僕が絶対に取りたいなと思つて、今年は三次であつたんですけど、吉田理事長と一週間前に練習ラウンドまで行きました。どんなコースか下見して、そこで作戦まで考えて、当日もベストスコアを取るためにすごい真剣にやつて、ぶつちぎりで番いスコアでした。これでベストスコアの写真を撮ってもらえる、とずっと名前を呼ばれるのをドキドキして待つていたら、なんと

今年もベストスコア賞がありませんという。一週間前に練習ラウンドまで行つて、ガチで取りに行つて今年だけないというベストスコアをもらえなかったというのが、JICライフの一番の悔いになっております。OBも参加できるみたいなので、もし来年ブロックゴルフの要員が足りなかつたらぜひ声をかけてください。予定を空けときますので、よろしくお願いします。

最後にちょっと真面目な話というか、これいいなと思つた言葉があつて、幹事の時の3分間スピーチでも話したんですけど、大谷選手の話で、大谷選手が二刀流を成し得ることができたというのが、花巻東高校の佐々木監督が大谷選手にずっとかけてた言葉らしいです。「先入観は不可能にする」っていうのを大谷選手にずっと言つてたらしいですね。プロ野球の世界ってどうしてもピッチャーだけではないといけない、バッターだけではないといけないという潜在感がある。二刀流なんか無理だろうっていうことが言われてるんですけど、大谷選手にはそういう先入観に捉われてほしくない。先入観を持っていたら可能なことが不可能になつてしまつていう言葉をずっとかけたらしくて、この言葉が僕いいなと思つてます。JICの事業にしても朝が早いから、理事は無理だろうって僕は思つてましたし、人と接するのが苦手なんで拡大活動なんて僕には無理だろうなと思つてました。でも今年、蓋を開けてみたら僕が渉外局長で、これは僕自身の決断だったから、いや拡大なんてできませんって言うてると思つてます。いつたら半ば強制的にこれやつて。みたいなところもあると思うんです。理事になつたら、それでも、その強制されたことを頑張ることによって、普段だったらやらないようなことを頑張つてみたり、それが成長に繋がるかなと思います。筋トレでもスポーツでも、自分ができることしかしてなかつたら成長はないし、その一歩先を行かないと成長はないと思うので、是非まだ理事をされてない人は、将来、理事を受けて、そこを起点に成長の機会ができたらいなと思います。なかなか自分だけの良き道に行つてしまふので、それもJICの良き道だと思います。以上です。ありがたうございました。